

令和6年度 甲斐市立竜王中学校 学校だより

NO.3

令和6年6月18日



竜王中HP

信玄堤

県総合体育大会・選手壮行会 3年生最後の大会！

県総合体育大会が始まっています。例年7月後半に行われていましたが、今年から支部予選が廃止されたため、種目ごとに6～7月に開催されています。

壮行会も日程変更をして、6月7日に実施されました。吹奏楽部の気持ちの良い演奏のなか、選手達が堂々と入場し、体育館は大きな拍手と熱気に包まれていました。竜中応援団による魂の応援と、全校生徒の気合いの入った校歌斉唱は、試合に臨む選手達の心に火を付けたと思います。数年前の「集まったら声を出さない」時期のことを考えると、大声で思いっきり応援できることの幸せを感じます。コロナ禍の甲子園で、「青春って、すごく密なので」と話した仙台育英高校野球部監督の言葉が思い出されました。

県総体は、ほとんどの種目が3年生最後の大会になります。相手選手へのリスペクトと竜中生としての誇りを大切に、最後まで粘り強く戦い抜いて欲しいと思います。そして最後は、支えてくれた仲間や家族、顧問やコーチへの感謝の言葉を忘れず、3年間の心の成長を示してください。



←美術・家庭科部
による応援掲示



避難訓練 ～自分と仲間の命を守る～

近年、日本中で様々な自然災害があり、日々の備えの必要性が高まっています。本校でも、年間を通して防災訓練を実施しています。5月末には地震想定訓練がありましたが、生徒教職員とも緊張感を持って訓練に臨むことができていました。6月末には、水害を想定した訓練があります。



災害は突然やってきます。自分はもちろん家族や仲間の命を守るために、日頃から様々な想定をして災害に備えることが重要です。先日、甲斐市から防災備蓄品（ペットボトルと非常食）の供与がありました。ご家庭でも災害時の行動や、備えについて話し合ってみてください。

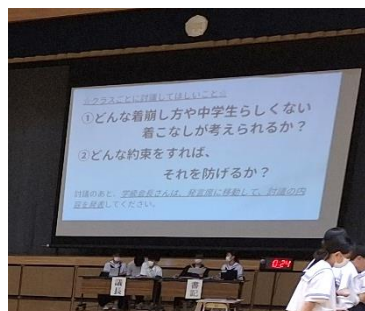
生徒総会 ～自治・権利と責任～

5月末に前期生徒総会が行われ、今年の生徒会スローガン「START～さらなる高みへ～」をはじめ、「関わり」「伝統」「ルール」という3本の活動の柱などについて全校生徒で話し合い、議決しました。大事な時間を割いて、全校生徒で「生徒総会」を行う意義は、生徒一人ひとりが学校生活の主役として自らの役割を自覚するとともに、話し合いをとおして学校生活をより良い充実したものとするににあります。また、生徒会という自治活動のなかで、民主主義についても学びます。



今回の総会では、各学級でよく話し合ってきた成果が出て、質問や賛成・修正意見がたくさん出され、活発な討議が繰り広げられていました。特に「下校チェック」のあり方について、生徒会本部と意見が違う学級があり、お互いが自分の意見を強く主張しあい白熱した討議となっていました。

また生徒総会のなかで、「ポロシャツ」「カーディガン」の着用について意見が交わされました。生徒からポロシャツやカーディガンを着用したいという要望を学校へ出すにあたり、どんな着こなしが必要かを全校で考えていました。今回の生徒総会での話し合いを受け、生徒会から正式な「要望書」を受け取りましたので、職員で検討した後、その回答を全校に示します。



要望書の受け渡し



～SSC 伊藤さんありがとうございました～

スクールサポートカウンセラー（SSC）は甲斐市が独自に任用している職員で、元警察官という経験を生かし、学校近くの交差点で登校時の見守りや、日中の校内巡視、不審者対応時の警察との連携など、常に生徒の近くで安全を守ってくれています。

その SSC の伊藤喜郎さんが、6月から敷島双葉地区へ転任となりました。長年にわたり竜王中の安全を守り、時には悩んでいる生徒に優しく声をかけてくださるなど、伊藤さんとの思い出はたくさんあります。離任式はできませんでしたが、生徒総会の前に応援団による全校での送別会を行い、伊藤さんからも温かいメッセージをいただきました。後任は、以前、竜中に勤務していただいたことがある前島陽一さんです。どうぞよろしくお願いします。



（左：伊藤さん 右：前島さん）